

## 事業実施主体等取組評価報告書(産地競争力の強化を目的とした推進事業)

(都道府県名:北海道)

市町村名	事業実施主体名	政策目的	政策目標	取組名	計画策定時		事業実施後(目標年度)		その他参考となる事項(対象作物・畜種名等を必要に応じて記載)	事業実施主体による評価	都道府県による評価	都道府県による評価結果の判断根拠、要因分析(必要に応じて記入)	農政局等による評価	成果目標の達成率
					成果目標	事業内容(計画)	成果目標に対する成果実績	事業実績						
北海道	北海道	産地競争力の強化	需要に応じた生産量の確保	土地利用型作物・畑作物・地域特産物、果樹、野菜、花き	検討会の開催 2回、連絡会議の開催 3回、調査の実施 3回	・検討会の開催 2回 ・連絡会議の開催 3回 ・調査の実施 3回	・検討会の開催 2回 ・連絡会議の開催 3回 ・調査の実施 3回	・検討会の開催 2回 ・連絡会議の開催 3回 ・調査の実施 3回	全作物			当初の目標を達成している。		100%
北海道	北海道	産地競争力の強化	需要に応じた生産量の確保	果樹	戦略構想実現に向けた施策の企画・立案 ・果樹産地戦略構想策定検討会開催 ・果実加工生産販売戦略検討会開催 ・調査実施 2回	・果樹産地戦略構想策定検討会開催 30人、1回 ・果実加工生産販売戦略検討会開催 30人、1回 ・調査実施 2回	・果樹産地戦略構想策定検討会開催 30人、1回 ・果実加工生産販売戦略検討会開催 30人、1回 ・調査実施 2回	・果樹産地戦略構想策定検討会開催 30人、1回 ・果実加工生産販売戦略検討会開催 30人、1回 ・調査実施 2回	果樹			当初の目標を達成している。		100%
北海道	北海道果樹協会	産地競争力の強化	需要に応じた生産量の確保	果樹	情報発信センターの設置 啓発資料の作成・配布 消費者ニーズの把握	・産消協働会議開催 30人、1回 ・啓発資料作成 3,000部 ・情報発信センター設置 道内3カ所 ・消費者ニーズ調査実施 2回	・産消協働会議開催 30人、1回 ・啓発資料作成 3,000部 ・情報発信センター設置 道内3カ所 ・消費者ニーズ調査実施 2回	・産消協働会議開催 30人、1回 ・啓発資料作成 3,000部 ・情報発信センター設置 道内3カ所 ・消費者ニーズ調査実施 2回	果樹			当初の目標を達成している。		100%
北海道	北海道	産地競争力の強化	需要に応じた生産量の確保	野菜	生産出荷動向調査 12回 指定産地の育成、近代化計画の策定	生産出荷動向調査 12回 計画策定指導 100産地	生産出荷動向調査 12回 計画策定指導 100産地	生産出荷動向調査 12回 計画策定指導 100産地	野菜			当初の目標を達成している。		100%
北海道	北海道	産地競争力の強化	需要に応じた生産量の確保	花き	ホームユース用切花の生産流通に向けたマニュアルの作成・配布	・ホームユース用切花生産流通検討会開催 20人、1回 ・ブランド化検討会開催 20人、1回 ・調査実施 2回	・ホームユース用切花生産流通検討会開催 20人、1回 ・ブランド化検討会開催 20人、1回 ・調査実施 2回	・ホームユース用切花生産流通検討会開催 20人、1回 ・ブランド化検討会開催 20人、1回 ・調査実施 2回	花き			当初の目標を達成している。		100
北海道	北海道花き生産出荷推進会議	産地競争力の強化	需要に応じた生産量の確保	花き	産地や栽培情報を明示したカードの作成・配布 消費者ニーズの把握 セミナー開催による生産技術の普及啓発	・産地づくり連絡会議開催 20人、1回 ・「北海道の花」情報表示販売着化活動 市内花小売店 100人、1回 ・「北海道の花」セミナー開催 100人、1回	・産地づくり連絡会議開催 18人、1回 ・「北海道の花」情報表示販売着化活動 市内花小売店 100人、1回 ・消費者ニーズ調査実施 100人、1回 ・「北海道の花」セミナー開催 100人、1回	・産地づくり連絡会議開催 18人、1回 ・「北海道の花」情報表示販売着化活動 市内花小売店 100人、1回 ・消費者ニーズ調査実施 100人、1回 ・「北海道の花」セミナー開催 100人、1回	花き			当初の目標を達成している。		100
幕別町	幕別町農協	産地競争力の強化	需要に応じた生産量の確保	野菜	実証試験ほを8カ所設置 技術マニュアルを400部配布 貯蔵試験を10回実施	実証試験ほの設置 5a×8カ所 資料印刷 400部 貯蔵試験の実施 10回	実証試験ほの設置 5a×8カ所 資料印刷 400部 貯蔵試験の実施 10回	実証試験ほの設置 5a×8カ所 資料印刷 400部 貯蔵試験の実施 10回	大根・長芋・レタスキャベツ・白菜・人参			当初の目標を達成している。		100%
北海道	特定非営利活動法人 農業応援あぐり、びれっじ	産地競争力の強化	需要に応じた生産量の確保	産地地消	道産野菜常設アンテナショップの開設 「北のめぐみ愛食フェア」の開催準備	1ヶ所 出店スペース 2.4m×1.2m フェア説明会 6ヶ所	道産野菜常設アンテナショップの開設 「北のめぐみ愛食フェア」の開催準備	道産野菜常設アンテナショップの開設 「北のめぐみ愛食フェア」の開催準備	道産野菜常設アンテナショップの開設 「北のめぐみ愛食フェア」の開催準備			当初の目標を達成している。		100%

事業実施主体等取組評価報告書(産地競争力の強化を目的とした推進事業)

(都道府県名:北海道)

市町村名	事業実施主体名	政策目的	政策目標	取組名	計画策定時		事業実施後(目標年度)		その他参考となる事項(対象作物・畜種名等を必要に応じて記載)	事業実施主体による評価	都道府県による評価	都道府県による評価結果の判断根拠、要因分析(必要に応じて記入)	農政局等による評価	成果目標の達成率
					成果目標	事業内容(計画)	成果目標に対する成果実績	事業実績						
旭川市	旭川市	産地競争力の強化	需要に応じた生産量の確保	産地地消	1回 2日間 300人 1回 2ヶ月間 1000人	農村ドライブレ- 1回 2日間 300人 朝市・直売所スタッフレ- 1回 2ヶ月間 1,000人	農村ドライブレ- 1回 2日間 203人 朝市・直売所スタッフレ- 1回 2ヶ月間 850人	農村ドライブレ- 1回 2日間 203人 朝市・直売所スタッフレ- 1回 2ヶ月間 850人	水稲 野菜			参加人数の達成率の平均は8割に若干満たなかったものの、目標どおりの回数及び期間で開催しており、直売所等のPRが十分図られ、地元農産物に対する消費者の理解が深まったと判断したためとした。		100%
需要に応じた生産量の確保(農産物)														
北海道	北海道	産地競争力の強化	生産性向上	畑作物、地域特産物	・高品質・省力生産技術資料3,000部作成	省力栽培体系検討会 6回 省力・低コスト事例調査 3回 技術講習会の開催 3,000部 栽培マニュアルの作成(高品質・省力生産技術資料)	省力栽培体系検討会 6回 省力・低コスト事例調査 3回 技術講習会の開催 3回 栽培マニュアルの作成(高品質・省力生産技術資料) 3,000部	省力栽培体系検討会 6回 省力・低コスト事例調査 3回 技術講習会の開催 3回 栽培マニュアルの作成(高品質・省力生産技術資料) 3,000部	てん菜 馬鈴しょ 雑豆			当初の目標を達成している。		100%
陸別町	陸別町農協	産地競争力の強化	生産性向上	畑作物、地域特産物	協議会の開催 委員会の開催 実証試験等の実施	協議会の開催 12人 4回 委員会の開催 6人 4回 実証・試験等の実施 20a 1カ所	協議会の開催 12人 4回 委員会の開催 6人 4回 実証・試験等の実施 20a 1カ所	協議会の開催 12人 4回 委員会の開催 6人 4回 実証・試験等の実施 20a 1カ所	てん菜			当初の目標を達成している。		100%
幕別町	幕別町農協	産地競争力の強化	生産性向上	畑作物、地域特産物	実需者との検討会を1回実施	実需者との検討会 1人1回 西方面	実需者との検討会 1人1回 西方面	実需者との検討会 1人1回 西方面	小豆・金時・手亡			当初の目標を達成している。		100%
池田町	十勝池田農協	産地競争力の強化	生産性向上	畑作物、地域特産物	生産技術講習会開催 栽培マニュアルの作成	生産技術講習会開催 1回 200名 栽培マニュアルの作成 200部	生産技術講習会開催 1回 200名 栽培マニュアルの作成 200部	生産技術講習会開催 1回 200名 栽培マニュアルの作成 200部	雑豆			当初の目標を達成している。		100%
池田町	十勝池田農協	産地競争力の強化	生産性向上	畑作物、地域特産物	生産技術講習会開催 栽培マニュアルの作成	生産技術講習会開催 1回 180名 栽培マニュアルの作成 180部	生産技術講習会開催 1回 180名 栽培マニュアルの作成 180部	生産技術講習会開催 1回 180名 栽培マニュアルの作成 180部	てん菜			当初の目標を達成している。		100%
池田町	十勝池田農協	産地競争力の強化	生産性向上	畑作物、地域特産物	生産技術講習会開催	生産技術講習会開催 1回 80名 栽培マニュアルの作成 80部	生産技術講習会開催 1回 80名 栽培マニュアルの作成 80部	生産技術講習会開催 1回 80名 栽培マニュアルの作成 80部	馬鈴しょ			当初の目標を達成している。		100%
生産性の向上(農産物)														
北海道	北海道	産地競争力の強化	品質向上	土地利用型作物	・カドミウム吸収抑制技術の検討 ・麦類新品種等栽培マニュアル作成 1500部	連絡会議の開催 4回 水稲生産・栽培管理1箇所状況調査 麦類新品種等栽培マニュアル作成検討会の開催 1回 麦類栽培・管理技術資料のための子実分析調査 100点 良質安定生産技術講習会の開催 1回 啓発活動 1回 ・大豆品質分析による新品種導入の推進	連絡会議の開催 3回 水稲生産・栽培管理1箇所状況調査 麦類新品種等栽培マニュアル作成検討会の開催 1回 麦類栽培・管理技術資料のための子実分析調査 61点 良質安定生産技術講習会の開催 1回 啓発活動 1回 ・大豆品質分析による新品種導入の推進	連絡会議の開催 3回 水稲生産・栽培管理1箇所状況調査 麦類新品種等栽培マニュアル作成検討会の開催 1回 麦類栽培・管理技術資料のための子実分析調査 61点 良質安定生産技術講習会の開催 1回 啓発活動 1回 ・大豆品質分析による新品種導入の推進	稲・麦・大豆			当初の目標を達成している。		100%

事業実施主体等取組評価報告書(産地競争力の強化を目的とした推進事業)

(都道府県名:北海道)

市町村名	事業実施主体名	政策目的	政策目標	取組名	計画策定時		事業実施後(目標年度)		その他参考となる事項(対象作物・畜種名等を必要に応じて記載)	事業実施主体による評価	都道府県による評価	都道府県による評価結果の判断根拠、要因分析(必要に応じて記入)	農政局等による評価	成果目標の達成率
					成果目標	事業内容(計画)	成果目標に対する成果実績	事業実績						
北海道	社団法人北海道米麦改良協会	産地競争力の強化	品質向上	土地利用型作物	・講習会開催 稲11箇所 麦8カ所 ・栽培技術指導チラシ、ポスター221,560部作成・配付 ・水稲直播栽培マニュアル1,500部作成・配付 ・用途別マニュアル(家庭用米・業務用米編)24,000部作成・配付	・稲麦技術の普及 ・講習会資料作成配付 3,000部 ・講習会事務局旅費 2名11カ所 ・共励会資料作成配付 2,000部 ・稲麦啓発活動 ・栽培技術指導チラシ 221,560部 ・米品質向上 ・食味分析 ・用途別マニュアル作成 3,300点 24,000部	・稲麦技術の普及 ・講習会資料作成配付 3,750部 ・講習会事務局旅費 3名11カ所 ・共励会資料作成配付 2,700部 ・稲麦啓発活動 ・栽培技術指導チラシ 169,185部 ・米品質向上 ・食味分析 ・用途別マニュアル作成 3,300点 24,000部	・稲麦技術の普及 ・講習会資料作成配付 3,750部 ・講習会事務局旅費 3名11カ所 ・共励会資料作成配付 2,700部 ・稲麦啓発活動 ・栽培技術指導チラシ 169,185部 ・米品質向上 ・食味分析 ・用途別マニュアル作成 3,300点 24,000部	稲・麦			当初の目標を概ね達成している。		100%
北海道	ホクレン農業協同組合連合会	産地競争力の強化	品質向上	土地利用型作物	・カドミウム検査150点実施 ・安全な米づくりに向けた異物・異品種混入防止パンフレット26,000部作成・配付 ・北海道米あんしんネット認定シール145万枚作成・貼付	・協議会の開催 3回 ・品質向上 ・安全性検査 150点 ・啓発活動 ・パンフレットの作成 26,000部 ・認定シールの作成 145万枚	・カドミウム検査116点実施 ・北海道米あんしんネット認定シール148万枚作成・貼付	・協議会の開催 2回 ・品質向上 ・安全性検査 116点 ・啓発活動 ・認定シールの作成 148万枚	稲			安全性検査点数については、計画より減少したものの、概ね計画点数を検査することができた。また、パンフレットについては事業最終年であることから事業自体の取組内容は周知されており、認定件数の増加を図るべきと協議会で判断され、計画を超える認定件数があったことなどから、「」とした。		100%
常呂町	JAとこ	産地競争力の強化	品質向上	土地利用型作物	・協議会2回開催 ・資料172部作成(農家151部、耕作推進用13部、農協6部、役場2部)	品質向上対策協議会開催 28人×2回 栽培技術資料作成 172部	・麦品質向上対策協議会開催(1回) ・栽培技術資料作成(170部)	麦品質向上対策協議会開催 107人×1回 栽培技術資料作成 170部	小麦			当初の目標を概ね達成している。		100%
中札内村	中札内村農協	産地競争力の強化	品質向上	土地利用型作物	実証試験ほの設置、検討委員会の開催	実証試験委員会 50a×1カ所 20人×2回	実証試験委員会の開催 50a×1カ所 20人×2回 120部	実証試験委員会の開催 50a×1カ所 20人×2回 120部	大豆			当初の目標を達成している。		100%
中札内村	中札内村農協	産地競争力の強化	品質向上	土地利用型作物	効率的な収穫体系の確立	品質分析 16点	品質分析 16カ所 全戸分析 107戸	品質分析 16カ所 全戸分析 107戸	小麦			当初の目標を達成している。		100%
幕別町	幕別町農協	産地競争力の強化	品質向上	土地利用型作物	実需者との検討会1回実施 生産技術向上のための技術指導資料を400部配布	実需者との検討会技術指導資料印刷 1人1回 東方面 指導資料400部	実需者との検討会技術指導資料印刷 1人1回 開東方面 指導資料400部	実需者との検討会技術指導資料印刷 1人1回 開東方面 指導資料400部	小麦・大豆			当初の目標を達成している。		100%
幕別町	幕別町農協	産地競争力の強化	品質向上	畑作物、地域特産作物	生産技術講習会を実施技術資料を400部配付 貯蔵試験を2品種11回実施	講習会資料400部 2品種×11回	生産技術講習会講習会資料400部 2品種×11回	生産技術講習会講習会資料400部 2品種×11回	馬鈴しょ			当初の目標を達成している。		100%
新得町	新得町農協	産地競争力の強化	品質向上	畑作物、地域特産作物	協議会の開催4回、生産技術講習会の開催4回、生産技術マニュアルの作成・配布60部、実証試験等の実施5カ所	協議会の開催 12名 4回 生産技術講習会の開催(資料作成200部) 50名 4回 栽培マニュアルの作成 60部 10a×4カ所 実証ほの設置 2ha×1カ所	協議会の開催 12名 4回 生産技術講習会の開催(資料作成200部) 50名 4回 栽培マニュアルの作成 60部 40a×1カ所 実証ほの設置 2ha×1カ所	協議会の開催 12名 4回 生産技術講習会の開催(資料作成200部) 50名 4回 栽培マニュアルの作成 60部 40a×1カ所 実証ほの設置 2ha×1カ所	馬鈴しょ			当初の目標を達成している。		100%

事業実施主体等取組評価報告書(産地競争力の強化を目的とした推進事業)

(都道府県名:北海道)

市町村名	事業実施主体名	政策目的	政策目標	取組名	計画策定時		事業実施後(目標年度)		その他参考となる事項(対象作物・畜種名等を必要に応じて記載)	事業実施主体による評価	都道府県による評価	都道府県による評価結果の判断根拠、要因分析(必要に応じて記入)	農政局等による評価	成果目標の達成率
					成果目標	事業内容(計画)	成果目標に対する成果実績	事業実績						
			品質の向上											
北海道	北海道	産地競争力の強化	農畜産業の環境保全	環境保全	研究成果2課題	高度グリーン米栽培の体系化実証 たまねぎ減農薬栽培技術の総合開発 2課題	高度グリーン米栽培の体系化実証 たまねぎ減農薬栽培技術の総合開発 2課題	高度グリーン米栽培の体系化実証 たまねぎ減農薬栽培技術の総合開発 2課題	全作物			当初の目標を達成している。		100%
北海道	北海道	産地競争力の強化	農畜産業の環境保全	環境保全	研究成果7課題	有機農業における生産安定化等に関する技術開発 7課題	有機農業における生産安定化等に関する技術開発 7課題	有機農業における生産安定化等に関する技術開発 7課題	全作物			当初の目標を達成している。		100%
北海道	北海道	産地競争力の強化	農畜産業の環境保全	環境保全	研究成果2課題	露地野菜の無化学肥料栽培技術 地下水の硝酸汚染判定プログラム開発 2課題	露地野菜の無化学肥料栽培技術 地下水の硝酸汚染判定プログラム開発 2課題	露地野菜の無化学肥料栽培技術 地下水の硝酸汚染判定プログラム開発 2課題	全作物			当初の目標を達成している。		100%
北海道	北海道	産地競争力の強化	農畜産業の環境保全	環境保全	・緑肥導入輪作取組事例の把握、紹介	検討会の開催 調査の実施 取組事例調査 1回 20人×4カ所	検討会の開催 調査の実施 取組事例調査 1回 20人、2回	検討会の開催 調査の実施 取組事例調査 1回 20人、2回	小麦 てん菜 豆類 馬鈴しょ			当初の目標を達成している。		100%
北海道	北海道クリーン農業推進協議会	産地競争力の強化	農畜産業の環境保全	環境保全	協議会等の開催5回 シンポジウムの開催1回 現地説明会の開催 普及啓発資料の作成配布	協議会等の開催 シンポジウムの開催 現地説明会の開催 普及啓発資料の作成配布 4回	協議会等の開催 シンポジウムの開催 現地説明会の開催 普及啓発資料の作成配布 6回 1,500部	協議会等の開催 シンポジウムの開催 現地説明会の開催 普及啓発資料の作成配布 6回 1,500部	全作物			当初の目標を達成している。		100%
新篠津村	農事組合法人オーガニック新篠津	産地競争力の強化	農畜産業の環境保全	環境保全	新技術導入農家8戸	実証圃の設置 研修会開催 モニタリング調査 10人 8ヶ所 343a	新技術導入農家 8戸	実証圃の設置 研修会開催 モニタリング調査 10人 8ヶ所 343a	有機農産物			当初の目標を達成している。		100%
旭川市	旭川市	産地競争力の強化	農畜産業の環境保全	環境保全(有機ブランド化推進)	40%×4試験 3回×1名 6回延べ150人	実証圃の設置 優良事例調査 技術講習会 40%×4試験 3回×1名 6回延べ150人	実証圃の設置 優良事例調査 技術講習会 40%×4試験 1回×1名 5回延べ159人	実証圃の設置 優良事例調査 技術講習会 40%×4試験 1回×1名 5回延べ159人	トマト チンゲンサイ ミズナ ジツウ			当初の目標を概ね達成している。		100%
帯広市 他19町村	十勝農業協同組合連合会	産地競争力の強化	農畜産業の環境保全	環境保全(有機ブランド化推進)	報告書ダイジェスト版5,000部農家配布 報告書300部配布 セミナー300人農家受講 十勝における高収益持続的畑作農業生産の現状と課題の明確化	協議会の開催 調査等の実施 緑肥展示圃の設置 研修会の開催 報告書の配布 報告書ダイジェスト版配布 20人 2回 48戸 1回 28カ所 28ha 200人 1回 300部 5,000部	報告書ダイジェスト版5,230部農家配布 報告書240部配布 セミナー450人農家受講 十勝における高収益持続的畑作農業生産の現状と課題の明確化	協議会の開催 調査等の実施 緑肥展示圃の設置 研修会の開催 報告書の配布 報告書ダイジェスト版配布 54人 2回 48戸 1回 26カ所 51ha 450人 1回 240部 5,230部	畑作物(ビート、馬鈴しょ、麦、大豆、雑豆)			当初の目標を達成している。		100%

事業実施主体等取組評価報告書(産地競争力の強化を目的とした推進事業)

(都道府県名:北海道)

市町村名	事業実施主体名	政策目的	政策目標	取組名	計画策定時		事業実施後(目標年度)		その他参考となる事項(対象作物・畜種名等を必要に応じて記載)	事業実施主体による評価	都道府県による評価	都道府県による評価結果の判断根拠、要因分析(必要に応じて記入)	農政局等による評価	成果目標の達成率
					成果目標	事業内容(計画)	成果目標に対する成果実績	事業実績						
津別町	津別町農業協同組合	産地競争力の強化	農畜産業の環境保全	環境保全	<ul style="list-style-type: none"> <li>協議会4回開催</li> <li>消費者ニーズの把握</li> <li>市場評価流通状況調査</li> <li>実証結果による技術講習会1回開催</li> <li>実証結果による施肥改善(減肥)H18実施</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>協議会等の開催調査等の実施 2回</li> <li>実証、試験等の実施 2.0ha×5箇所</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>協議会の開催(4回)</li> <li>生協組合員アンケート調査により消費者ニーズを把握</li> <li>市場評価流通状況調査を実施</li> <li>実証結果による技術講習会を開催(1回)</li> <li>実証結果による施肥改善(窒素施肥量を慣行に対し50%(6kg/10a)減肥)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>協議会等の開催調査等の実施 1回</li> <li>実証、試験等の実施 2.0ha×5箇所</li> </ul>	玉ねぎ			<p>成果目標では、麦の品質向上栽培技術を生産者へ普及させるため、麦作集団等の代表者からなる品質向上対策協議会の開催を2回としていたが、高品質の麦を生産していくには代表者・生産者が一体となって栽培技術を普及・実践することが重要であるため、全体参加の協議会が1回開催された。協議会の開催回数は目標を下回ったが、栽培技術を生産者に普及させる目的は達せられたので、事業評価は「」と判断した。</p>		100%
女満別町	女満別町農業協同組合	産地競争力の強化	農畜産業の環境保全	環境保全	<ul style="list-style-type: none"> <li>緑肥栽培検証結果によりパンフレットを作成・配布(380部)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>協議会の開催 13人×1回</li> <li>土壌分析の実施 226点</li> <li>実証ほの設置 17.2ha</li> <li>休閑緑肥 380部</li> <li>パンフレットの作成</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>パンフレットの作成・配布(380部)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>協議会の開催 13人×1回</li> <li>土壌分析の実施 244点</li> <li>実証ほの設置 17.2ha</li> <li>休閑緑肥 380部</li> <li>パンフレットの作成</li> </ul>	小麦 てん菜 馬鈴しょ 豆類		当初の目標を達成している。		100%	
美幌町	美幌町農業協同組合	産地競争力の強化	農畜産業の環境保全	環境保全	<ul style="list-style-type: none"> <li>実証効果や栽培場の留意点等をファックスで畑作農家へ情報発信(471戸)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>土づくり協議会の開催 17人×1回</li> <li>土壌分析の実施 56点</li> <li>実証ほの設置 37.9ha</li> <li>休閑緑肥 + 堆肥 42.4ha</li> <li>後作緑肥 51.0ha</li> <li>後作緑肥 + 堆肥 90.0ha</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>郵送により啓発資料を配布(471戸)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>土づくり協議会の開催 12人×1回</li> <li>土壌分析の実施 56点</li> <li>実証ほの設置 37.9ha</li> <li>休閑緑肥 + 堆肥 42.4ha</li> <li>後作緑肥 51.0ha</li> <li>後作緑肥 + 堆肥 90.0ha</li> </ul>	小麦 豆類 馬鈴しょ てん菜 玉ねぎ		当初の目標を達成している。		100%	
津別町	津別町農業協同組合	産地競争力の強化	農畜産業の環境保全	環境保全	<ul style="list-style-type: none"> <li>生産技術講習会1回開催</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>協議会等の開催 18名×4回</li> <li>土壌分析の実施 82点</li> <li>実証ほの設置 60.0ha</li> <li>休閑緑肥 35.0ha</li> <li>休閑緑肥 + 堆肥 90.0ha</li> <li>後作緑肥 35.0ha</li> <li>生産技術講習会開催 100名×1回</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>生産技術講習会を開催(1回)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>協議会等の開催 18名×3回</li> <li>土壌分析の実施 82点</li> <li>実証ほの設置 60.0ha</li> <li>休閑緑肥 35.0ha</li> <li>休閑緑肥 + 堆肥 90.0ha</li> <li>後作緑肥 35.0ha</li> <li>後作緑肥 + 堆肥 87名×1回</li> </ul>	小麦 てん菜 豆類 馬鈴しょ		当初の目標を達成している。		100%	
斜里町	斜里町農業協同組合	産地競争力の強化	農畜産業の環境保全	環境保全	<ul style="list-style-type: none"> <li>緑肥導入パンフレットを作成・配布(300部作成、282戸に配付)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>協議会の開催 9人×2回</li> <li>土壌分析の実施 170点</li> <li>実証ほの設置 32.0ha</li> <li>休閑 + 堆肥 12.8ha</li> <li>後作緑肥 163.8ha</li> <li>後作 + 堆肥 113.1ha</li> <li>技術講習会の開催 300人×1回</li> <li>パンフレットの作成 282部</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>緑肥啓発パンフレットを作成・配布(300部作成、282戸に配付)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>協議会の開催 9人×2回</li> <li>土壌分析の実施 170点</li> <li>実証ほの設置 32.0ha</li> <li>休閑 + 堆肥 12.8ha</li> <li>後作緑肥 163.8ha</li> <li>後作 + 堆肥 113.1ha</li> <li>技術講習会の開催 300人×1回</li> <li>パンフレットの作成 300部</li> </ul>	小麦 馬鈴しょ てん菜 にんじん その他		当初の目標を達成している。		100%	

事業実施主体等取組評価報告書(産地競争力の強化を目的とした推進事業)

(都道府県名:北海道)

市町村名	事業実施主体名	政策目的	政策目標	取組名	計画策定時		事業実施後(目標年度)		その他参考となる事項(対象作物・畜種名等を必要に応じて記載)	事業実施主体による評価	都道府県による評価	都道府県による評価結果の判断根拠、要因分析(必要に応じて記入)	農政局等による評価	成果目標の達成率
					成果目標	事業内容(計画)	成果目標に対する成果実績	事業実績						
清里町	清里町農業協同組合	産地競争力の強化	農畜産業の環境保全	環境保全	・講習会1回開催 ・緑肥導入啓蒙リーフレットを300部作成・配布	協議会の開催 土壌分析の実施 実証ほの設置 休閑緑肥 休閑緑肥+堆肥 後作緑肥 後作緑肥+堆肥 講習会の開催 リーフレット作成	13人×2回 187点 30.4ha 26.4ha 308.7ha 269.5ha 245人×1回 300部	・講習会の開催(1回) ・リーフレットの作成・配布(300部)	協議会の開催 土壌分析の実施 実証ほの設置 休閑緑肥 休閑緑肥+堆肥 休閑緑肥+堆肥 後作緑肥 後作緑肥+堆肥 講習会の開催 リーフレット作成	24人×1回 598点 30.4ha 26.4ha 308.7ha 269.5ha 97人×1回 300部	てん菜 馬鈴しょ 豆類 麦類		当初の目標を達成している。	100%
小清水町	小清水町農業協同組合	産地競争力の強化	農畜産業の環境保全	環境保全	・技術資料の作成・配布(344戸)	協議会の開催 土壌分析の実施 実証ほの設置 休閑緑肥	14人×2回 9点 28.9ha	技術資料の作成・配布(344戸)	協議会の開催 土壌分析の実施 実証ほの設置 休閑緑肥	14人×2回 9点 25.6ha	麦類 てん菜 馬鈴しょ 豆類 野菜		当初の目標を達成している。	100%
端野町	きたみらい農業協同組合	産地競争力の強化	農畜産業の環境保全	環境保全	・緑肥作付推進啓発資料を200部作成・配布	協議会の開催 土壌分析の実施 実証ほ設置 休閑緑肥	9人×2回 22点 53.5ha	啓発資料を作成・配布(250部)	協議会の開催 土壌分析の実施 実証ほ設置 休閑緑肥	9人×1回 22点 53.5ha	麦類 豆類 馬鈴しょ てん菜		当初の目標を達成している。	100%
白滝村	丸瀬布町農業協同組合	競争力の強化	農畜産業の環境保全	環境保全	・講習会1回の開催	協議会等の開催 土壌分析の実施 実証圃の設置 休閑緑肥 休閑緑肥+堆肥 後作緑肥 後作緑肥+堆肥 講習会の開催	5人×2回 77点 12.0ha 9.5ha 52.0ha 33.0ha 20人×1回	講習会(あおぞら教室)の開催(1回)	協議会等の開催 土壌分析の実施 実証圃の設置 休閑緑肥 休閑緑肥+堆肥 休閑緑肥+堆肥 後作緑肥 後作緑肥+堆肥 講習会の開催	5人×2回 77点 12.0ha 9.5ha 52.0ha 33.0ha 20人×1回	小麦 てん菜 馬鈴しょ 豆類 その他		当初の目標を達成している。	100%
滝上町	オホーツクはまなす農業協同組合	産地競争力の強化	農畜産業の環境保全	環境保全	・緑肥導入促進講習会1回開催	協議会の開催 土壌分析の実施 実証圃の設置 休閑緑肥+堆肥 後作緑肥+堆肥 講習会の開催	8人×1回 30点 8.0ha 3.6ha 20人×1回	緑肥栽培技術講習会の開催(1回)	協議会の開催 土壌分析の実施 実証圃の設置 休閑緑肥+堆肥 後作緑肥+堆肥 講習会の開催	8人×1回 30点 8.0ha 3.6ha 22人×1回	小麦 てん菜 馬鈴しょ 野菜		当初の目標を達成している。	100%
網走市	オホーツク網走農業協同組合	産地競争力の強化	農畜産業の環境保全	環境保全	・緑肥作物導入効果・栽培技術パンフレットを400部作成・配布	協議会の開催 先進地調査 土壌分析の実施 実証ほの設置 休閑緑肥 休閑緑肥+堆肥 講習会の開催 パンフレット作成	10人×2回 2名×1回 43点 3.6ha 49.6ha 300人×1回 400部	パンフレットの作成・配布(500部)	協議会の開催 先進地調査 土壌分析の実施 実証ほの設置 休閑緑肥 休閑緑肥+堆肥 講習会の開催 パンフレット作成	10人×2回 0回 45点 3.62ha 48.5ha 400人×1回 500部	麦類 てん菜 馬鈴しょ 豆類		当初の目標を達成している。	100%
帯広市	帯広大正農業協同組合	産地競争力の強化	農畜産業の環境保全	環境保全	・緑肥導入推進パンフレットを300部作成・配布	協議会の開催 土壌分析の実施 実証ほの設置 休閑緑肥 講習会の開催 パンフレット作成	10人×2回 18点 80.0ha 300人×1回 300部	パンフレット作成 300部	協議会の開催 土壌分析の実施 実証ほの設置 休閑緑肥 講習会の開催 パンフレット作成	12人×2回 18点 72.7ha 61人×1回 300部	小麦 豆類 馬鈴しょ てん菜 野菜類		当初の目標を達成している。	100%

事業実施主体等取組評価報告書(産地競争力の強化を目的とした推進事業)

(都道府県名:北海道)

市町村名	事業実施主体名	政策目的	政策目標	取組名	計画策定時		事業実施後(目標年度)				その他参考となる事項(対象作物・畜種名等を必要に応じて記載)	事業実施主体による評価	都道府県による評価	都道府県による評価結果の判断根拠、要因分析(必要に応じて記入)	農政局等による評価	成果目標の達成率
					成果目標	事業内容(計画)	成果目標に対する成果実績		事業実績							
音更町	音更町農業協同組合	産地競争力の強化	農畜産業の環境保全	環境保全	・緑肥作物導入実証ほ設置(2,242.94ha)	土壌分析の実施 768点 実証ほ設置 休閑緑肥 62.26ha 休閑緑肥+堆肥 206.26ha 後作緑肥 1,516.79ha 後作緑肥+堆肥 509.28ha 講習会の開催 250人×1回	土壌分析の実施 774点 実証ほ設置 休閑緑肥 55.13ha 休閑緑肥+堆肥 176.78ha 後作緑肥 1,428.97ha 後作緑肥+堆肥 519.36ha 講習会の開催 250人×1回	土壌分析の実施 774点 実証ほ設置 休閑緑肥 55.13ha 休閑緑肥+堆肥 176.78ha 後作緑肥 1,428.97ha 後作緑肥+堆肥 519.36ha 講習会の開催 250人×1回	小麦 大豆 てん菜 馬鈴しょ 雑豆 野菜 その他			当初の目標を概ね達成している。		100%		
音更町	木野農業協同組合	産地競争力の強化	農畜産業の環境保全	環境保全	・緑肥作物導入実証ほ設置(189.3ha)	推進協議会の開催 土壌分析の実施 25人×2回 実証ほの設置 106点 休閑緑肥 41.8ha 休閑緑肥+堆肥 25.9ha 後作緑肥+堆肥 120.25ha 講習会の開催 41人×1回	推進協議会の開催 土壌分析の実施 25人×2回 実証ほの設置 116点 休閑緑肥 31.36ha 休閑緑肥+堆肥 23.46ha 後作緑肥+堆肥 139.45ha 講習会の開催 41人×1回	推進協議会の開催 土壌分析の実施 25人×2回 実証ほの設置 116点 休閑緑肥 31.36ha 休閑緑肥+堆肥 23.46ha 後作緑肥+堆肥 139.45ha 講習会の開催 41人×1回	小麦 大豆 てん菜 馬鈴しょ 雑豆 野菜 その他			当初の目標を達成している。		100%		
上士幌町	上士幌町農業協同組合	産地競争力の強化	農畜産物の環境保全	環境保全	・講習会を1回開催 ・緑肥導入促進パンフレットを100部作成・配布	協議会の開催 土壌診断の実施 14人×2回 実証補の設置 66点 休閑緑肥 58.2ha 後作緑肥 377.2ha 講習会の開催 60人×1回 パンフレット作成 100部	講習会の開催 パンフレット作成 60人×1回 100部	協議会の開催 土壌診断の実施 14人×2回 実証補の設置 66点 休閑緑肥 45.3ha 後作緑肥 384.5ha 講習会の開催 60人×1回 パンフレット作成 100部	小麦 豆類 てん菜 馬鈴しょ			当初の目標を達成している。		100%		
鹿追町	鹿追町農業協同組合	産地競争力の強化	農畜産業の環境保全	環境保全	・緑肥作物導入実証ほの設置(320.0ha)	調査の実施 実証ほ調査 一式 土壌分析 300点 実証ほの設置 休閑緑肥+堆肥 20.0ha 後作緑肥+堆肥 300.0ha	調査の実施 実証ほ調査 17.12ha 他158点 土壌分析 実証ほの設置 17.12ha 休閑緑肥+堆肥 17.12ha 後作緑肥+堆肥 398ha	調査の実施 実証ほ調査 17.12ha 他158点 土壌分析 実証ほの設置 17.12ha 休閑緑肥+堆肥 17.12ha 後作緑肥+堆肥 398ha	てん菜 小麦 馬鈴しょ 豆類 野菜			当初の目標を達成している。		100%		
清水町	十勝清水農業協同組合	産地競争力の強化	農畜産業の環境保全	環境保全	・環境改善マニュアル300部作成・配布	緑肥協議会の開催 土壌分析の実施 34人×2回 実証ほの設置 70点 後作緑肥 180.0ha 後作緑肥+堆肥 90.0ha 環境改善マニュアルの作成 300部	環境改善マニュアルの作成 300部	緑肥協議会の開催 土壌分析の実施 34人×2回 実証ほの設置 74点 後作緑肥 180.0ha 後作緑肥+堆肥 90.0ha	小麦 てん菜 豆類 馬鈴しょ 野菜			当初の目標を達成している。		100%		
芽室町	芽室町農業協同組合	産地競争力の強化	農畜産業の環境保全	環境保全	・緑肥作物導入実証ほの設置(61.2ha)	協議会の開催 土壌分析の実施 9人×2回 実証ほの設置 20点 休閑緑肥 61.7ha	休閑緑肥 61.7ha	協議会の開催 土壌分析の実施 9人×2回 実証ほの設置 20点 休閑緑肥 61.7ha	小麦 馬鈴しょ 豆類 てん菜 その他			当初の目標を達成している。		100%		
更別村	更別村農業協同組合	産地競争力の強化	農畜産業の環境保全	環境保全	・緑肥作物導入実証ほの設置(100.0ha)	協議会の開催 調査の実施 18人×5回 実証ほ調査 一式 土壌診断 90点 実証ほの設置 休閑緑肥+堆肥 100.0ha	実証ほの設置 休閑緑肥+堆肥 100.0ha	協議会の開催 調査の実施 18人×5回 実証ほ調査 一式 土壌診断 76点 実証ほの設置 休閑緑肥+堆肥 100.0ha	小麦 大豆 雑豆 てん菜 馬鈴しょ			当初の目標を達成している。		100%		
広尾町	広尾町農業協同組合	産地競争力の強化	農畜産業の環境保全	環境保全	・講習会を2回開催	協議会の開催 土壌分析の実施 6人×2回 実証ほの設置 4点 休閑緑肥 8.0ha	協議会の開催 6人×2回	協議会の開催 土壌分析の実施 6人×2回 実証ほの設置 3点 休閑緑肥 5.5ha	てん菜 馬鈴しょ 小麦 豆類			当初の目標を達成している。		100%		

事業実施主体等取組評価報告書(産地競争力の強化を目的とした推進事業)

(都道府県名:北海道)

市町村名	事業実施主体名	政策目的	政策目標	取組名	計画策定時		事業実施後(目標年度)		その他参考となる事項(対象作物・畜種名等を必要に応じて記載)	事業実施主体による評価	都道府県による評価	都道府県による評価結果の判断根拠、要因分析(必要に応じて記入)	農政局等による評価	成果目標の達成率
					成果目標	事業内容(計画)	成果目標に対する成果実績	事業実績						
池田町	十勝池田町農業協同組合	産地競争力の強化	農畜産業の環境保全	環境保全	・導入促進講習会1回開催 調査の実施 実証ほ調査 一式 土壌分析 30点 実証ほの設置 休閑緑肥 13.0ha 休閑緑肥+堆肥 15.0ha 後作緑肥 20.5ha 後作緑肥+堆肥 20.0ha 導入促進講習会開催 110名×1回	導入促進講習会開催 110名×1回	調査の実施 実証ほ調査 一式 土壌分析 36点 実証ほの設置 休閑緑肥 4.4ha 休閑緑肥+堆肥 0.0ha 後作緑肥 80.8ha 後作緑肥+堆肥 44.7ha 導入促進講習会開催 110名×1回	小麦 大豆 小豆 雑豆 てん菜 馬鈴しょ			当初の目標を達成している。		100%	
池田町	十勝高島農業協同組合	産地競争力の強化	農畜産業の環境保全	環境保全	・講習会を1回開催 ・技術資料を50部作成・配布 協議会の開催 調査の実施 実証ほ調査 一式 土壌診断 16点 実証ほの設置 休閑緑肥 19.0ha 後作緑肥 120.0ha 講習会の開催 50人×1回 技術資料の作成 50部	講習会の開催 50人×1回 技術資料の作成 50部	協議会の開催 調査の実施 実証ほ調査 一式 土壌診断 8点 実証ほの設置 休閑緑肥 18.8ha 後作緑肥 119.0ha 講習会の開催 50人×1回 技術資料の作成 50部	小麦 大豆 小豆 菜豆 馬鈴しょ てん菜 野菜			当初の目標を達成している。		100%	
豊頃町	豊頃町農業協同組合	産地競争力の強化	農畜産業の環境保全	環境保全	・試験成績書の作成 協議会の開催 土壌分析の実施 実証ほの設置 後作緑肥 60.0ha	試験成績書の作成 10部	協議会の開催 土壌分析の実施 実証ほの設置 後作緑肥 52.0ha	豆類 馬鈴しょ 小麦 てん菜 野菜			当初の目標を達成している。		100%	
本別町	本別町農業協同組合	産地競争力の強化	農畜産業の環境保全	環境保全	・緑肥作物導入実証ほの設置(28.2ha) 土壌分析の実施 実証ほの設置 休閑緑肥 28.2ha	実証ほの設置 休閑緑肥 28.2ha	土壌分析の実施 実証ほの設置 休閑緑肥 28.2ha	小麦 大豆 小豆 菜豆 馬鈴しょ てん菜			当初の目標を達成している。		100%	
足寄町	足寄町農業協同組合	産地競争力の強化	農畜産業の環境保全	環境保全	・資源循環型農業推進緑肥導入マニュアルを150部作成・配布 資源循環型農業推進 協議会の開催 5人×2回 土壌分析の実施 104点 実証ほの設置 休閑緑肥 50.0ha 後作緑肥 238.0ha 後作緑肥+堆肥 42.0ha 資源循環型農業推進 緑肥導入マニュアル作成 150部	資源循環型農業推進 緑肥導入マニュアル作成 150部	資源循環型農業推進 協議会の開催 5人×2回 土壌分析の実施 103点 実証ほの設置 休閑緑肥 50.0ha 後作緑肥+堆肥 238.0ha 資源循環型農業推進 緑肥導入マニュアル作成 150部	小麦 てん菜 小豆 雑豆 馬鈴しょ 野菜			当初の目標を達成している。		100%	
浦幌町	浦幌町農業協同組合	産地競争力の強化	農畜産業の環境保全	環境保全	・緑肥導入啓蒙資料を200部作成・配布 協議会の開催 土壌分析の実施 実証ほの設置 休閑緑肥 50.0ha 後作緑肥 300.0ha	緑肥導入啓蒙資料作成 200部	協議会の開催 土壌分析の実施 実証ほの設置 休閑緑肥 50.0ha 後作緑肥 300.0ha	小麦 大豆 雑豆 馬鈴しょ てん菜 その他			当初の目標を達成している。		100%	
土幌町	土幌町農業協同組合	産地競争力の強化	農畜産業の環境保全	環境保全	・緑肥作物導入実証ほの設置(595.8ha) 協議会の開催 実証ほの設置 後作緑肥 595.8ha 研修会開催 1回 事務費調査	実証ほの設置 後作緑肥 776.93ha	協議会の開催 実証ほの設置 後作緑肥 776.93ha 研修会開催 2回 事務費調査	小麦 大豆 雑豆 馬鈴しょ てん菜			当初の目標を達成している。		100%	

事業実施主体等取組評価報告書(産地競争力の強化を目的とした推進事業)

(都道府県名:北海道)

市町村名	事業実施主体名	政策目的	政策目標	取組名	計画策定時		事業実施後(目標年度)		その他参考となる事項(対象作物・畜種名等を必要に応じて記載)	事業実施主体による評価	都道府県による評価	都道府県による評価結果の判断根拠、要因分析(必要に応じて記入)	農政局等による評価	成果目標の達成率
					成果目標	事業内容(計画)	成果目標に対する成果実績	事業実績						
中標津町	中標津町農業協同組合	産地競争力の強化	農畜産業の環境保全	環境保全	・講習会の開催(3回、延べ30人)	協議会の開催 土壌診断の実施 実証ほの設置 休閑緑肥 休閑緑肥+堆肥 講習会の開催 6人×1回 133点 29.9ha 39.0ha 3回延べ30人	講習会の開催 3回 延べ30人	協議会の開催 土壌診断の実施 実証ほの設置 休閑緑肥 休閑緑肥+堆肥 講習会の開催 133点 29.9ha 39.0ha 3回 延べ30人	てん菜 馬鈴しょ 野菜			当初の目標を達成している。		100%
農畜産業の環境保全														
北海道	北海道	産地競争力の強化	農作業の機械化・安全対策	農業生産体制保安	研修会開催 1回 啓発資料作成 30部	・研修会開催 1回 ・啓発資料作成 30部	・研修会開催 1回 ・啓発資料作成 30部	・研修会開催 1回 ・啓発資料作成 30部	全作物			当初の目標を達成している。		100%
北海道	北海道農作業安全運動推進本部	産地競争力の強化	農作業の機械化・安全対策	農業生産体制保安	啓発資料作成 488部 研修会開催 2回	・啓発資料作成 488部 ・研修会開催 2回	・啓発資料作成 88,288部 ・研修会開催 1回	・啓発資料作成 88,288部 ・研修会開催 1回	全作物			当初の目標を達成している。		100%
農作業の機械化・安全の確立														
北海道	北海道	産地競争力の強化	輸入急増農産物における国産シェアの奪回	輸入急増野菜	協議会開催 3回 検討会開催 1回 セミナー開催 3回 2品目調査	産地強化協議会の開催 低コスト化対策検討会の開催 高付加価値化セミナーの開催 道産野菜機能解明調査 30人×3回 80人×1回 120人×3回 2品目	産地強化協議会の開催 低コスト化対策検討会の開催 高付加価値化セミナーの開催 道産野菜機能解明調査 3回(計140名) 106名×1回 3回(計411名) 2品目	産地強化協議会の開催 低コスト化対策検討会の開催 高付加価値化セミナーの開催 道産野菜機能解明調査 3回(計140名) 106名×1回 3回(計411名) 2品目	野菜			当初の目標を達成している。		100%
北海道	ホクレン農業協同組合連合会	産地競争力の強化	輸入急増農産物における国産シェアの奪回	輸入急増野菜	協議会 3回 システム実証試験 残留農薬簡易分析実証試験 消費者意向調査 1回	推進協議会の開催 システム実証試験 残留農薬簡易分析実証試験 消費者意向調査 1回 20人×3回	推進協議会の開催 システム実証試験 残留農薬簡易分析実証試験 消費者意向調査 1回 20人×3回	推進協議会の開催 システム実証試験 残留農薬簡易分析実証試験 消費者意向調査 1回 20人×3回	野菜			当初の目標を達成している。		100%
北海道	ホクレン農業協同組合連合会	産地競争力の強化	輸入急増農産物における国産シェアの奪回	輸入急増野菜	協議会 2回開催 フォーラム 1回開催 啓発冊子 20,000部作成・配付 料理教室 10回実施 料理レシコンテスト 3回実施	推進協議会の開催 フォーラムの開催 啓発冊子の作成 料理教室の実施 料理レシコンテストの実施 2回 150人×1回 20,000部 10回 3回	推進協議会の開催 フォーラムの開催 啓発冊子の作成 料理教室の実施 料理レシコンテストの実施 2回 164人×1回 20,000部 10回 3回	推進協議会の開催 フォーラムの開催 啓発冊子の作成 料理教室の実施 料理レシコンテストの実施 2回 164人×1回 20,000部 10回 3回	野菜			当初の目標を達成している。		100%
栗山町	栗山町農業協同組合	産地競争力の強化	輸入急増農産物における国産シェアの奪回	輸入急増野菜	・生産者による道外着荷状況調査の実施 ・特別栽培農産物対応肥料の開発及び実証試験の実施 ・全体会議・説明会 1回実施	調査の実施 肥料開発実証試験会議・説明会 1回4人 15箇所 500a 1回77名	調査の実施 肥料開発実証試験会議・説明会 1回4人 15箇所 500a 1回77名	調査の実施 肥料開発実証試験会議・説明会 1回4人 15箇所 500a 1回77名	玉葱			当初の目標を達成している。		100%

事業実施主体等取組評価報告書(産地競争力の強化を目的とした推進事業)

(都道府県名:北海道)

市町村名	事業実施主体名	政策目的	政策目標	取組名	計画策定時		事業実施後(目標年度)		その他参考となる事項(対象作物・畜種名等を必要に応じて記載)	事業実施主体による評価	都道府県による評価	都道府県による評価結果の判断根拠、要因分析(必要に応じて記入)	農政局等による評価	成果目標の達成率
					成果目標	事業内容(計画)	成果目標に対する成果実績	事業実績						
斜里町	斜里町農業協同組合	産地競争力の強化	輸入急増農産物における国産シェアの奪回	輸入急増野菜	・協議会2回開催 ・産地整備計画の策定 ・環境へ配慮した残渣物の炭化処理による圃場へのリサイクル方法の検証 ・根菜類収穫機械化の検証	地域推進会議の開催 11人×2回 先進地調査 道外1回・道内1回 青果物残渣炭化処理試験 品質地域適合試験(人参・玉葱) 加工ほうれん草栽培収穫現地試験	・地域推進会議の開催(2回) ・産地整備計画を策定 ・青果物残渣炭化処理試験の実施によりリサイクル方法を検証 ・加工ほうれん草栽培収穫現地試験の実施により収穫機械の可能性を検証	地域推進会議の開催 11人×2回 先進地調査 道外1回・道内1回 一式 品質地域適合試験(人参・玉葱) 加工ほうれん草栽培収穫現地試験 25a×2カ所	人参 玉葱 ほうれん草			当初の目標を達成している。		100%
常呂町	常呂町農業協同組合	産地競争力の強化	輸入急増農産物における国産シェアの奪回	輸入急増野菜	・協議会2回開催 ・講習会1回開催 ・調査1回実施。玉葱高度化協議会での調査結果報告並びに消費ニーズに合った生産技術の向上及び品質改善対策に活用。	玉葱高度化協議会開催 10人×2回 高品質栽培技術講習会開催 50人×1回 消費動向調査 3人×1回	・玉葱産地高度化協議会の開催(1回) ・玉葱栽培技術講習会の開催(1回) ・消費動向調査の実施(1回)	玉葱産地高度化協議会開催 10人×1回 玉葱栽培技術講習会開催 50人×1回 消費動向調査 3人×1回	玉ねぎ			玉葱産地高度化協議会について、交付決定前に交付対象外で1回開催したため、実質的に協議会を2回開催しているため事業評価は「」と判断した。		100%
輸入急増農産物関係産地対策														
北海道	北海道	産地競争力の強化	需要に応じた生産量の確保	家畜改良増殖	転飼許可件数247件	転飼調整指導推進 養ほう関連実態調査の実施 転飼許可件数247件	転飼調整指導推進 養ほう関連実態調査の実施 転飼許可件数437件	転飼許可件数437件	養ほう			当初の目標を達成している。		100%
北海道	(社)北海道酪農検定検査協会	産地競争力の強化	需要に応じた生産量の確保	家畜改良増殖	牛群検定 316,000頭 後代検定 32,000頭(精液 83,000本)	牛群検定による、優良雌雄牛群の確保。全国家畜個体識別データベースを活用した効率的な飼養管理・経営指導。後代検定による優良種雄牛の確保。	牛群検定 353,376頭 後代検定 53,109頭(精液本数 82,614本)	牛群検定戸数 5,419戸 牛群検定頭数 353,376頭 後代検定頭数 53,109頭 調整交配精液本数 82,614本	乳用牛			当初の目標を達成している。		100%
北海道	北海道	産地競争力の強化	需要に応じた生産量の確保	生乳乳製品流通(生乳需給調整推進)	生乳計画生産目標数量の達成 (H16:381.9万t±1%)	現地指導 ・6ブロック	生乳計画生産実績実績数 ・376.1万t ( -1.5%)	現地指導 ・6ブロック	生乳			当初の目標を概ね達成している。		100%
北海道	ホクレン農業協同組合連合会	産地競争力の強化	需要に応じた生産量の確保	生乳乳製品流通(生乳需給調整推進)	生乳計画生産目標数量の達成 (H16:381.9万t±1%)	・中央打合せ ・販売委員会、推進会議の開催 ・生乳計画生産用資料作成 ・乳質改善指導事業	・中央打合せ 4人10回 ・販売委員会 33人5回 ・推進会議12人5回 ・電算処理 ・資料作成、配布1万部	・中央打合せ23回 延べ39人 ・販売委員会6回 延べ135人 ・推進会議7回 延べ68人 ・電算処理 ・資料作成、配布1万部	生乳			当初の目標を概ね達成している。		100%
北海道	北海道	産地競争力の強化	需要に応じた生産量の確保	生乳乳製品流通(生乳需給調整推進)	北海道乳業再編ビジョンの作成	・調査、指導 ・協議会開催	・2.5工場 ・30人、1回	北海道乳業再編ビジョンの作成	生乳			当初の目標を達成している。		100%

事業実施主体等取組評価報告書(産地競争力の強化を目的とした推進事業)

(都道府県名:北海道)

市町村名	事業実施主体名	政策目的	政策目標	取組名	計画策定時		事業実施後(目標年度)		その他参考となる事項(対象作物・畜種名等を必要に応じて記載)	事業実施主体による評価	都道府県による評価	都道府県による評価結果の判断根拠、要因分析(必要に応じて記入)	農政局等による評価	成果目標の達成率
					成果目標	事業内容(計画)	成果目標に対する成果実績	事業実績						
北海道	北海道	産地競争力の強化	需要に応じた生産量の確保	食肉等流通体制整備	肉豚の適正な出荷予測の実施、鶏卵需給調整協議会の開催(3回/年)、道内の鶏卵情勢関連資料の作成・配布(70部)	肉豚生産出荷予測調査の実施 鶏卵需給調整協議会の開催 鶏卵・鶏肉生産動向調査の実施	・肉豚生産出荷予測調査の実施 ・鶏卵需給調整協議会の開催 ・鶏卵・鶏肉生産動向調査の実施 ・道内の鶏卵情勢関連資料の作成・配布	・肉豚生産出荷予測調査の実施 ・鶏卵需給調整協議会の開催 ・鶏卵・鶏肉生産動向調査の実施 ・道内の鶏卵情勢関連資料の作成・配布	豚、鶏			当初の目標を達成している。		100
北海道	北海道	産地競争力の強化	需要に応じた生産量の確保	畜産生産基盤育成強化	酪農・肉用牛生産近代化計画の策定	地区意見交換会 酪肉近代化計画の作成・配付	酪農・肉用牛生産近代化計画の策定	地区意見交換会 酪肉近代化計画の作成・配付	乳用牛・肉用牛			当初の目標を達成している。		100%
北海道	(社)北海道農業担い手育成センター	産地競争力の強化	需要に応じた生産量の確保	畜産生産基盤育成強化	研修生等人数115人	新規就農希望者の研修等の推進 認定委員会開催等 技術習得資金の給付 指導謝金の給付	研修生等人数109人	研修生等人数(109人) 新規就農希望者の研修等の推進 認定委員会開催等 技術習得資金の給付 指導謝金の給付	乳用牛、肉用牛			当初の目標を概ね達成している。		100%
北海道	北海道	産地競争力の強化	需要に応じた生産量の確保	畜産生産基盤育成強化	個別診断改善指導を448戸実施 研修会等の開催によりグループ指導を340戸に対して実施	支援指導研究会の開催 地域指導班会議の開催 畜産経営指導資料の作成 個別診断改善指導の実施 地域支援指導の実施 経営技術高度化研修会の開催	個別診断改善指導の実施(448戸) グループ指導の実施(286戸)	支援指導研究会の開催 地域指導班会議の開催 畜産経営指導資料の作成 個別診断改善指導の実施 地域支援指導の実施 経営技術高度化研修会の開催	乳用牛、肉用牛			当初の目標を概ね達成している。		100%
北海道	(社)北海道酪農畜産協会	産地競争力の強化	需要に応じた生産量の確保	畜産生産基盤育成強化	データベースを活用した個別支援指導を2,880件実施	大家畜データベース(DB)に関する説明会の開催 DBの普及推進資料の作成 データの収集 DBを活用した支援活動 利用研修会の開催	データベースを活用した個別支援指導を2,881件実施	大家畜データベース(DB)に関する説明会の開催 DBの普及推進資料の作成 データの収集 DBを活用した支援活動 利用研修会の開催	乳用牛、肉用牛			当初の目標を達成している。		100%
北海道	(財)北海道農業開発公社	産地競争力の強化	需要に応じた生産量の確保	畜産生産基盤育成強化	新規就農者30戸に対し経営安定対策の実施	新規就農者に対し経営安定対策の実施	新規就農者28戸に対し経営安定対策の実施	新規就農者に対し経営安定対策の実施	乳用牛			当初の目標を概ね達成している。		100%
北海道	北海道	産地競争力の強化	需要に応じた生産量の確保	畜産新技術実用化(家畜個体識別)	飼料抽出検査を100件実施	家畜個体識別システム推進協議会 飼料抽出検査の実施 飼料適正使用推進地区講習会の開催 飼料適正使用パンフレットの作成	飼料抽出検査を84件実施	家畜個体識別システム推進協議会 飼料抽出検査の実施 飼料適正使用推進地区講習会の開催 飼料適正使用パンフレットの作成	飼料			当初の目標を概ね達成している。		100%
中標津町	中標津町	産地競争力の強化	需要に応じた生産量の確保	畜産生産基盤育成強化	中標津町酪農・肉用牛生産近代化計画を150部作成・配布	中標津町酪農・肉用牛生産近代化計画の策定	中標津町酪農・肉用牛生産近代化計画を150部作成・配布	中標津町酪農・肉用牛生産近代化計画の策定	乳用牛、肉用牛			当初の目標を達成している。		100%

事業実施主体等取組評価報告書(産地競争力の強化を目的とした推進事業)

(都道府県名:北海道)

市町村名	事業実施主体名	政策目的	政策目標	取組名	計画策定時		事業実施後(目標年度)		その他参考となる事項(対象作物・畜種名等を必要に応じて記載)	事業実施主体による評価	都道府県による評価	都道府県による評価結果の判断根拠、要因分析(必要に応じて記入)	農政局等による評価	成果目標の達成率
					成果目標	事業内容(計画)	成果目標に対する成果実績	事業実績						
栗山町	栗山町	産地競争力の強化	需要に応じた生産量の確保	畜産生産基盤育成強化	酪肉近代化計画500部作成・配付	酪肉近代化計画策定 酪肉近代化計画委員会開催。酪肉近代化計画の作成・配付	酪肉近代化計画500部作成・配付	酪肉近代化計画450部作成・配付	酪肉近代化計画検討・策定会議2回開催、酪肉近代化計画書印刷、酪肉近代化計画450部配布 製本500部			当初の目標を概ね達成している。		100%
奥尻町	奥尻町	産地競争力の強化	需要に応じた生産量の確保	畜産生産基盤育成強化	酪農・肉用牛生産近代化計画策定	市町村酪農肉用牛近代化計画の策定 計画説明会1回	酪農・肉用牛生産近代化計画策定	市町村酪農肉用牛近代化計画の策定 計画説明会1回	酪農・肉用牛			当初の目標を達成している。		100%
豊富町	豊富町	産地競争力の強化	需要に応じた生産量の確保	畜産生産基盤育成強化	酪農・肉用牛生産近代化計画策定	市町村酪農肉用牛近代化計画の策定 一式	酪農・肉用牛生産近代化計画策定	市町村酪農肉用牛近代化計画の策定 一式	酪農・肉用牛			当初の目標を達成している。		100%
帯広市	帯広市	産地競争力の強化	需要に応じた生産量の確保	畜産生産基盤育成強化	酪農・肉用牛生産近代化計画策定	協議会の開催 酪農・肉用牛生産近代化計画策定 3回 40名 200部	酪農・肉用牛生産近代化計画策定	協議会の開催 酪農・肉用牛生産近代化計画策定 4回 24名 200部	酪農・肉用牛			当初の目標を達成している。		100%
芽室町	芽室町	産地競争力の強化	需要に応じた生産量の確保	畜産生産基盤育成強化	酪農・肉用牛生産近代化計画策定	協議会の開催 酪農・肉用牛生産近代化計画策定 16人 4回 110戸 1回 実態調査	酪農・肉用牛生産近代化計画策定	協議会の開催 酪農・肉用牛生産近代化計画策定 8人 5回 110戸 1回 実態調査	酪農・肉用牛			当初の目標を達成している。		100%
足寄町	足寄町	産地競争力の強化	需要に応じた生産量の確保	畜産生産基盤育成強化	酪農・肉用牛生産近代化計画策定	会議の開催等 酪農・肉用牛生産近代化計画策定 3回	酪農・肉用牛生産近代化計画策定	会議の開催等 酪農・肉用牛生産近代化計画策定 3回	酪農・肉用牛			当初の目標を達成している。		100%
陸別町	陸別町	産地競争力の強化	需要に応じた生産量の確保	畜産生産基盤育成強化	酪農・肉用牛生産近代化計画策定	協議会の開催 酪農・肉用牛生産近代化計画策定 一式	酪農・肉用牛生産近代化計画策定	酪農・肉用牛生産近代化計画策定 一式	酪農・肉用牛			当初の目標を達成している。		100%
需要に応じた生産量の確保(畜産物)														
北海道	北海道	産地競争力の強化	生産性向上	家畜改良増殖	種鳥性能調査について2系統の性能を明らかにする。 ・組み合わせ検定については3系統の組み合わせ能力を明らかにする。	種鳥性能調査、組み合わせ検定 600羽	種鳥性能調査により2系統の性能が明らかになった。 ・組み合わせ検定により3系統の組み合わせ能力が明らかになった。	種鳥性能調査、組み合わせ検定 600羽	鶏			当初の目標を達成している。		100%
北海道	北海道	産地競争力の強化	生産性向上	家畜改良増殖	馬振興推進協議会を1回開催	馬振興推進協議会の開催 費用馬・乗用馬の調査・検討 1回	馬振興推進協議会を1回開催	馬振興推進協議会の開催 費用馬・乗用馬の調査・検討 1回	馬			当初の目標を達成している。		100%
北海道	(社)北海道酪農畜産協会	産地競争力の強化	生産性向上	家畜改良増殖	協議会3回、研修会1回、現地指導2回	特用家畜振興推進会議の開催 協議会3回、研修会1回、現地指導2回	協議会4回、研修会1回、現地指導3回	特用家畜振興推進会議の開催 協議会4回、研修会1回、現地指導3回	めん羊			当初の目標を達成している。		100%
北海道	北海道	産地競争力の強化	生産性向上	草地流動化促進	飼料作付面積20%以上増加	達成状況の確認、指導・監督 15人、15回	飼料作付面積 12.2%増加	達成状況の確認、指導・監督 15人、15回	飼料作物			平成20年度までに20%以上増加する目標であって、既に目標の6割を達成しており、初年度目の成果としては十分な結果である。		100%
士幌町	士幌町乳牛検定組合	産地競争力の強化	生産性向上	家畜改良増殖	牛群検定350頭	自動サンプル装置の実証 一式	牛群検定 436頭	自動サンプル装置の実証 一式	乳用牛			当初の目標を達成している。		100%

## 事業実施主体等取組評価報告書(産地競争力の強化を目的とした推進事業)

(都道府県名:北海道)

市町村名	事業実施主体名	政策目的	政策目標	取組名	計画策定時		事業実施後(目標年度)		その他参考となる事項(対象作物・畜種名等を必要に応じて記載)	事業実施主体による評価	都道府県による評価	都道府県による評価結果の判断根拠、要因分析(必要に応じて記入)	農政局等による評価	成果目標の達成率
					成果目標	事業内容(計画)	成果目標に対する成果実績	事業実績						
本別町	本別町農業協同組合	産地競争力の強化	生産性向上	家畜改良増殖	牛群検定 140頭	サンプリングデバイス 交換プログラム 2台 サンプリング 6個 技術検討会 3回 調査 12回	牛群検定 延べ487頭	サンプリングデバイス 2台 交換プログラム 6個 サンプリング 3回 技術検討会 12回	乳用牛			当初の目標を達成している。		100%
広尾町	広尾町	産地競争力の強化	生産性向上	草地流動化促進	飼料作付面積 20.0%以上増加	事業推進会議の開催 連 37人、3回 担担地確認作業 2人、1回	飼料作付面積の増加 25.6%増加	事業推進会議の開催 42人、3回 連担担地確認作業 2人、1回	飼料作物			当初の目標を達成している。		100%
上士幌町	上士幌町	産地競争力の強化	生産性向上	草地流動化促進	飼料作付面積 20.0%以上増加	事業推進会議の開催 連 15人、1回 担担地確認作業 3人、1回	飼料作付面積の増加 12.6%増加	事業推進会議の開催 11人、1回 連担担地確認作業 2人、1回	飼料作物			当該事業においては、5か年での目標達成を果たすものであり、17年度は概ね達成となったが、5か年全体では目標達成となる予定である。		100%
美深町	美深町	産地競争力の強化	生産性向上	草地流動化促進	飼料作付面積 25%以上増加	事業推進のための啓 発・普及資料の作成 45部作成及び会議の 開催2回、担い手への 助言・指導・各種連絡 調整	飼料作付面積 47.2%増加	事業推進のための啓 発・普及資料の作成 23部作成及び会議の 開催1回、担い手への 助言・指導・各種連絡 調整	飼料作物			当初の目標を達成している。		100%
苫前町	苫前町	産地競争力の強化	生産性向上	草地流動化促進	飼料作付面積 20%以上増加	・推進会議の開催 60人2回 ・関係機関との調整 2回 ・連担担地の確認 10日	飼料作付面積 15%増加	・推進会議の開催 30人1回 ・関係機関との調整 6回 ・連担担地の確認 2日	飼料作物			当該事業においては、5か年での目標達成を果たすものであり、17年度は概ね達成となったが、5か年全体では目標達成となる予定である。		100%
歌登町	歌登町	産地競争力の強化	生産性向上	草地流動化促進	飼料作付面積 25.0%以上増加	打ち合わせ 会議 2回、 推進検討会 議 2回開 催、資料印 刷配布 70 部	飼料作付面積 29.20%	事業推進会議 資料印刷配付 1回 48部	飼料作物			当初の目標を達成している。		100%
東藻琴村	東藻琴村	産地競争力の強化	生産性向上	草地流動化促進	担い手農家にお ける飼料作付 面積の増加率 30%を目標と する。	事業推進会議 1回*15人 関連機関調整活動 6回*12人 連担担地確認作業 20回*20人	担い手農家の飼料作 付面積の増加率 33.6%	事業推進会議 1回*10人 関連機関調整活動 1回*10人 連担担地確認作業 10回*10人	飼料作物			当初の目標を達成している。		100%
湧別町	湧別町	産地競争力の強化	生産性向上	草地流動化促進	集積率 25%以上	事業推進会議の開催 2回 関連機関との調整 3回 連担担地等の確認 3回 営農者への助言・指導 1回	担い手等への農地利 用集積面積 27.1%増加	事業推進会議の開催 1回*16人 関連機関との調整 3回*12人 連担担地等の確認 3回*12人 営農者への助言・指導 1回*4人	飼料作物			当初の目標を達成している。		100%
雄武町	雄武町	産地競争力の強化	生産性向上	草地流動化促進	飼料作付面積 の23%	推進会議の開催 30人、1回	担い手経営等飼料基 盤面積 54.1%増加	事業推進会議の開催 1回*20人 事業推進会議資料の 作成 30部 啓発・普及資料の作成 50部 関連機関調整活動 2回*4人 連担担地確認作業 30回*60人 土地利用調査の指導 1回*2人	飼料作物			当初の目標を達成している。		100%

事業実施主体等取組評価報告書(産地競争力の強化を目的とした推進事業)

(都道府県名:北海道)

市町村名	事業実施主体名	政策目的	政策目標	取組名	計画策定時		事業実施後(目標年度)		その他参考となる事項(対象作物・畜種名等を必要に応じて記載)	事業実施主体による評価	都道府県による評価	都道府県による評価結果の判断根拠、要因分析(必要に応じて記入)	農政局等による評価	成果目標の達成率
					成果目標	事業内容(計画)	成果目標に対する成果実績	事業実績						
釧路	釧路市	産地競争力の強化	生産性向上	草地流動化促進	飼料作付面積 111.7%以上増加	事業推進のための会議開催 20人、1回 1ヶ所	飼料作付面積 134.7%増加	事業推進のための会議開催 38人、2回 2ヶ所	飼料作物			当初の目標を達成している。		100%
釧路	厚岸町	産地競争力の強化	生産性向上	草地流動化促進	飼料作付面積 20.0%以上増加	事業推進のための会議開催 10人、1回 1ヶ所	飼料作付面積 31.0%増加	事業推進のための会議開催 13人、1回 1ヶ所	飼料作物			当初の目標を達成している。		100%
釧路	阿寒町	産地競争力の強化	生産性向上	草地流動化促進	飼料作付面積 20.0%以上増加	事業推進のための会議開催 10人、1回 1ヶ所	飼料作付面積 12.2%増加	事業推進のための会議開催 8人、1回 1ヶ所	飼料作物			当該事業においては、5か年での目標達成を果たすものであり、17年度は概ね達成となったが、5か年全体では目標達成となる予定である。		100%
中頓別町	中頓別町	産地競争力の強化	生産性向上	草地流動化促進	飼料作付面積 20.0%以上増加	打ち合わせ会議、推進検討会議開催、資料印刷配布 打ち合わせ会議 5回、推進検討会議 5回開催、資料印刷配布 70部	飼料作付面積 26.8%増加	事業推進会議 資料印刷配付 2回 14部	飼料作物			当初の目標を達成している。		100%
別海町	別海町	産地競争力の強化	生産性向上	草地流動化促進	担い手等の連担面積 25.2%	関連機関との調整 連担団地等の確認 20人、10回 8人、4回	担い手等の連担面積 25.5%	関連機関との調整 連担団地等の確認 15人、5回 6人、3回	飼料作物			当初の目標を達成している。		100%
別海町	別海町	産地競争力の強化	生産性向上	草地流動化促進	担い手等の連担面積 26.6%	関連機関との調整 連担団地等の確認 20人、10回 8人、4回	担い手等の連担面積 21.3%	関連機関との調整 連担団地等の確認 15人、5回 6人、3回	飼料作物			当初の目標を概ね達成している。		100%
別海町	別海町	産地競争力の強化	生産性向上	草地流動化促進	担い手等の連担面積 34.1%	関連機関との調整 連担団地等の確認 16人、6回 3人、6回	担い手等の連担面積 27.3%	関連機関との調整 連担団地等の確認 15人、5回 6人、3回	飼料作物			当初の目標を概ね達成している。		100%
中標津町	中標津町	産地競争力の強化	生産性向上	草地流動化促進	担い手等の連担面積 21.0%	関連機関との調整 連担団地等の確認 20人、10回 5人、10回	担い手等の連担面積 14.4%	関連機関との調整 連担団地等の確認 助言・指導 6回延べ6人 9回延べ20人 3回延べ6人	飼料作物			当該事業においては、5か年での目標達成を果たすものであり、17年度は概ね達成となったが、5か年全体では目標達成となる予定である。		100%
北海道	北海道	産地競争力の強化	生産性向上	畜産生産基盤育成強化	検討会の開催	新規就農状況調査 検討会 5回	検討会の開催	新規就農状況調査 検討会 5回	乳用牛			当初の目標を達成している。		100%
北海道	北海道	産地競争力の強化	生産性向上	飼料増産	公共牧場職員実地研修会を1回開催 公共牧場利用促進 公共牧場放牧促進計画を40部作成	公共牧場職員実地研修会 公共牧場利用促進 公共牧場放牧促進計画の作成 1回 5牧場 40部	公共牧場職員実地研修会を1回開催 公共牧場放牧促進計画を40部作成	公共牧場職員実地研修会 公共牧場利用促進 公共牧場放牧促進計画の作成 1回 5牧場 40部	乳用牛 肉用牛			当初の目標を達成している。		100%
北海道	北海道	産地競争力の強化	生産性向上	飼料増産	関係者20名参加の飼料増産会議を年1回開催 優良品種普及パンフレットを1,000部作成・配布	飼料増産推進会議の開催 飼料増産利用拡大研修会の実施 優良品種普及のためのパンフレットの作成 10人、1回 20人、2回 1,000部	飼料増産推進会議の開催 飼料増産利用拡大研修会の実施 優良品種普及のためのパンフレットの作成 延べ30人、3回 延べ20人、2回 1,000部	飼料増産推進会議の開催 飼料増産利用拡大研修会の実施 優良品種普及のためのパンフレットの作成 延べ30人、3回 延べ20人、2回 1,000部	飼料作物			当初の目標を達成している。		100%

事業実施主体等取組評価報告書(産地競争力の強化を目的とした推進事業)

(都道府県名:北海道)

市町村名	事業実施主体名	政策目的	政策目標	取組名	計画策定時		事業実施後(目標年度)		その他参考となる事項(対象作物・畜種名等を必要に応じて記載)	事業実施主体による評価	都道府県による評価	都道府県による評価結果の判断根拠、要因分析(必要に応じて記入)	農政局等による評価	成果目標の達成率
					成果目標	事業内容(計画)	成果目標に対する成果実績	事業実績						
北海道	北海道	産地競争力の強化	生産性向上	家畜改良増殖	候補種雄牛2頭選抜	高能力種雄牛選抜 候補種雄牛2頭選抜	候補種雄牛2頭選抜	高能力種雄牛選抜 候補種雄牛2頭選抜	肉用牛			当初の目標を達成している。		100%
北海道	北海道	産地競争力の強化	生産性向上	家畜改良増殖	推進会議開催後代検定精液分配(約83,000本)効率的な検定・改良推進方法の検討	後代検定・牛群検定事業の推進会議の出席・開催事業推進のための委託調査	推進会議開催後代検定精液分配(約82,614本)効率的な検定・改良推進方法の検討	後代検定推進会議開催・中央推進会議出席 1回37名 3回延べ3名 4回延べ4名 牛群検定中央推進会議出席 牛群検定普及推進事業報告書の作成	乳用牛			当初の目標を概ね達成している。		100%
北海道	(財)北海道農業開発公社	産地競争力の強化	生産性向上	家畜改良増殖	家畜導入用基金造成172頭分	家畜導入 家畜導入用基金造成172頭分	家畜導入用基金造成172頭分	家畜導入 家畜導入用基金造成172頭分	肉用牛			当初の目標を達成している。		100%
北海道	北海道	産地競争力の強化	生産性向上	畜産新技術実用化(畜産新技術)	飼養管理新技術の普及推進に向けた情報収集及び技術的課題の研究・検討	普及推進会議実証展示 1回 1式	飼養管理新技術の普及推進に向けた情報収集及び技術的課題の研究・検討	飼養管理新技術の普及推進に向けた情報収集及び技術的課題の研究・検討(普及推進会議)実証展示 1回 1式	乳用牛			当初の目標を達成している。		100%
広尾町	広尾町農業協同組合	産地競争力の強化	生産性向上	飼料増産	青刈りとうもろこしの不耕起栽培技術実証 16.2ha	青刈りとうもろこしの不耕起栽培技術実証圃の設置 16.2ha	青刈りとうもろこしの不耕起栽培技術実証圃の設置 16.2ha	青刈りとうもろこしの不耕起栽培技術実証圃の設置 16.2ha	青刈りとうもろこし			当初の目標を達成している。		100%
南富良野町	富良野広域串内草地組合	産地競争力の強化	生産性向上	飼料増産	公共牧場職員実地研修・公共牧場研修等 10回 放牧技術研修4回 放牧馴致実施10回 入退牧検査実施20回 農家指導の実施1回 放牧利用打合せ1回	公共牧場職員実地研修 道内4回 放牧技術研修等 10回 放牧馴致の実施・看視体制強化 20回 放牧牛入牧検査実施 1回道内 農家指導 1回道内 放牧利用打合せ 20部 放牧情報提供 1,000部 200部	公共牧場職員実地研修 道内6回 放牧技術研修 6回 放牧馴致の実施 12回 入退牧検査実施 21回 農家指導の実施 1回 放牧利用打合せ 1回	公共牧場職員実地研修 道内6回 放牧技術研修 6回 放牧馴致の実施 12回 入退牧検査実施 21回 農家指導 1回道内 放牧利用打合せ 1回道内 放牧情報提供 14部 1,511部 276部	乳用牛・肉用牛			当初の目標を概ね達成している。		100%
富良野市	富良野農業協同組合	産地競争力の強化	生産性向上	飼料増産	密植栽培技術と新品種の導入により単収の増加	デントコーンの密植栽培と新品種に関する実証栽培 25ha	密植栽培技術と新品種の導入により単収の増加 実証試験収量 5,362kg/10a 目標対比 107%	デントコーンの密植栽培と新品種に関する実証栽培 25ha	飼料作物「地域提案」			当初の目標を達成している。		100%
旭川市	上川生産農業協同組合連合会	産地競争力の強化	生産性向上	飼料増産	放牧推進会議1回 OJT研修6回 9人 放牧農家指導の実施 道外1回・道内6回 入退牧衛生検査12回	放牧推進会議 公共牧場職員実地研修・公共牧場研修等 放牧農家指導の実施・放牧利用打合せ 放牧牛入退牧検査の実施(個体検査・体重測定) @840 1回50人 @150,000 道外1回2名・道内32,858 道内5回7名 @130,000 道外1回2名・道内12,500 道内6回6人 @2,300 12回12人	放牧推進会議 公共牧場職員実地研修 放牧農家指導・利用打合せ 入退牧衛生検査 1回50人 道外2回3人 道内3回5人 道外1回2人 道内8回11人 12回12人	放牧推進会議 公共牧場職員実地研修 放牧農家指導・利用打合せ 入退牧衛生検査 1回50人@840 道外2回3人 @118,787 道内3回5人 @18,560 道外1回2人 @147,310 道内8回11人 @12,382 12回12人 @2,300	乳用牛			当初の目標を達成している。		100%

